

TEC ロープワーク講習会報告

ブランチ作業においては、現在も国内で災害が発生しており、その件数は決して減少傾向ではない。災害を未然に防止するためには、正確な原因究明をもとに防止するための策、そして、それをなし得る作業環境と技術、更にはそれを行う作業者の技能の向上が急務と捉える。

当講習会は、TEC 組合員、賛助会員企業に所属する作業従事者を災害から守るため、そしてこれからも災害に巻き込まれないためのスキルを身に着けることを趣旨とし、TEC 安全研究委員会が今期事業として開催した。

本講習は2日間のカリキュラムとなっている。

講習内容は、ブランチ作業でいうところの通常の下降のみならず、ロープの登高や、ロープからロープへの空中移動、下降中にトラブルが発生し、宙吊り状態となった作業者の救出等のセッションを安全なメソッドで行うロープアクセス技術講習である。

受講生においては、通常のブランチ作業では成しえなかった高度な技術を習得する有意義な機会となった。

今期は、4月より10月までの開催により、37名が受講し、全員に修了証を交付することができた。



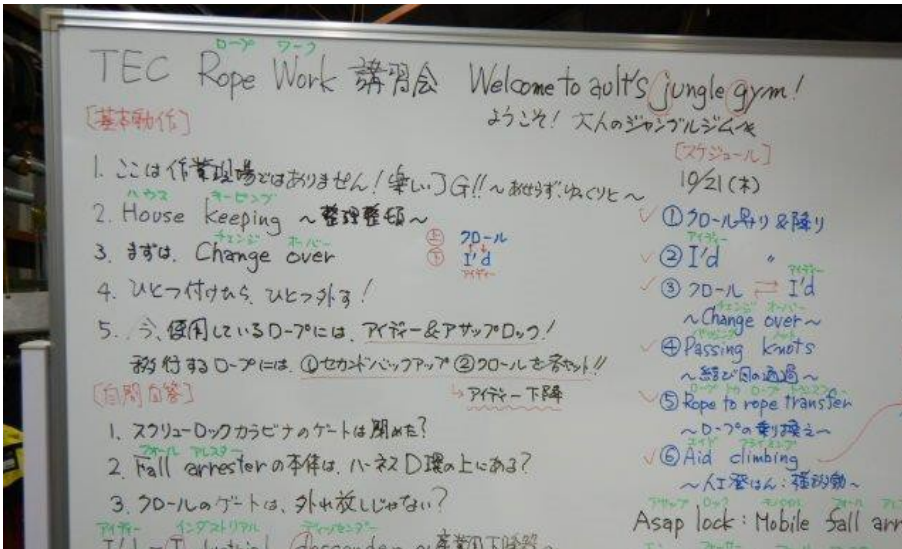
講師を務めるのは、当組合の大山専務理事、組合内のみならず外部講師としても活躍する安全教育、ロープアクセスのプロフェッショナルである



講習は座学により、徹底的に基礎知識を学ぶ



実技中も常にホワイトボードを用い、幾度も安全と技術について反復学習を行う



ホワイトボードに書き込まれた獲得すべきメソッド



講師のサポートは安全研究委員会 三原委員が担当する



エイドクライミング

ハーネスに取り付けた3本のカウズテイルと2本の錠（ルーピング）により鉄骨を横移動する
常に2本のロープがフィックスされていることから、墜落する恐れはない



到達地点からは、ロープに移行し下降する



オンサイトレスキュー

作業者が熱中症などのトラブルにより宙吊り状態となり自力で下降困難となったことを想定したレスキューテクニック

要救助者のイクイップメントを解除し救助者のハーネスに移行して安全に地上まで下降する



受講生によるオンサイトレスキュー



ロープトゥロープトランス ファー

空中でロープから他のロープ
に安全に移行（乗り換え）す
るメソッド



還暦を越えても血気盛んな大山講師には脱帽である



今期の TEC ロープワーク講習会は、延日数16日間を要し、一人もけが人を出さずに無事終了した。

へ

東京外装メンテナンス協同組合